

糖尿病領域における取り組み

大日本住友製薬株式会社
開発本部長 小野 圭一

2006年11月9日

糖尿病領域の重点化

		領域・薬効分類	製品	開発品	研究段階
メタボリック・シンジンドローム	糖尿病	インスリン分泌促進薬	グリミクロン	レパグリニド	◎
		インスリン抵抗性改善薬	メルビン	メトホルミン	◎
		糖吸収抑制薬	セイブル		◎(＊)
		合併症治療薬		ラニレスタット	◎
	循環器系疾患	高血圧症治療薬 他	アムロジン セタプリル アルマール	イルベサルタン	◎

＊ : SGLT1 (選択的グルコーストランスポーター) 阻害薬

糖尿病領域 開発段階(P2以降)一覧

	P2	P3	上市済み
インスリン分泌促進薬 (SU剤)			グリミクロン
速効型インスリン分泌促進薬 (RIS剤)	SMP-508 (レパグリニド)		
インスリン抵抗性改善薬 (BG剤)	SMP-862 (メトホルミン)		メルビソ
糖吸収抑制薬 (α GI剤)			セイブル (*)
合併症治療薬 (ARI剤)	AS-3201 (ラニレスタット) (国内)	AS-3201 (ラニレスタット) (海外)	

(* : 三和化学研究所とのコ・プロモーション)

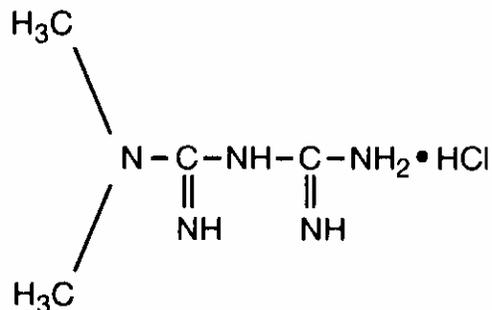
SMP-862
【国内：PⅡb】

- 一般名 **メトホルミン塩酸塩 (JAN)**
 Metformin (INN)
- 商品名 未定
- 国内申請区分 1-(4)新効能医薬品、1-(6)新用量医薬品

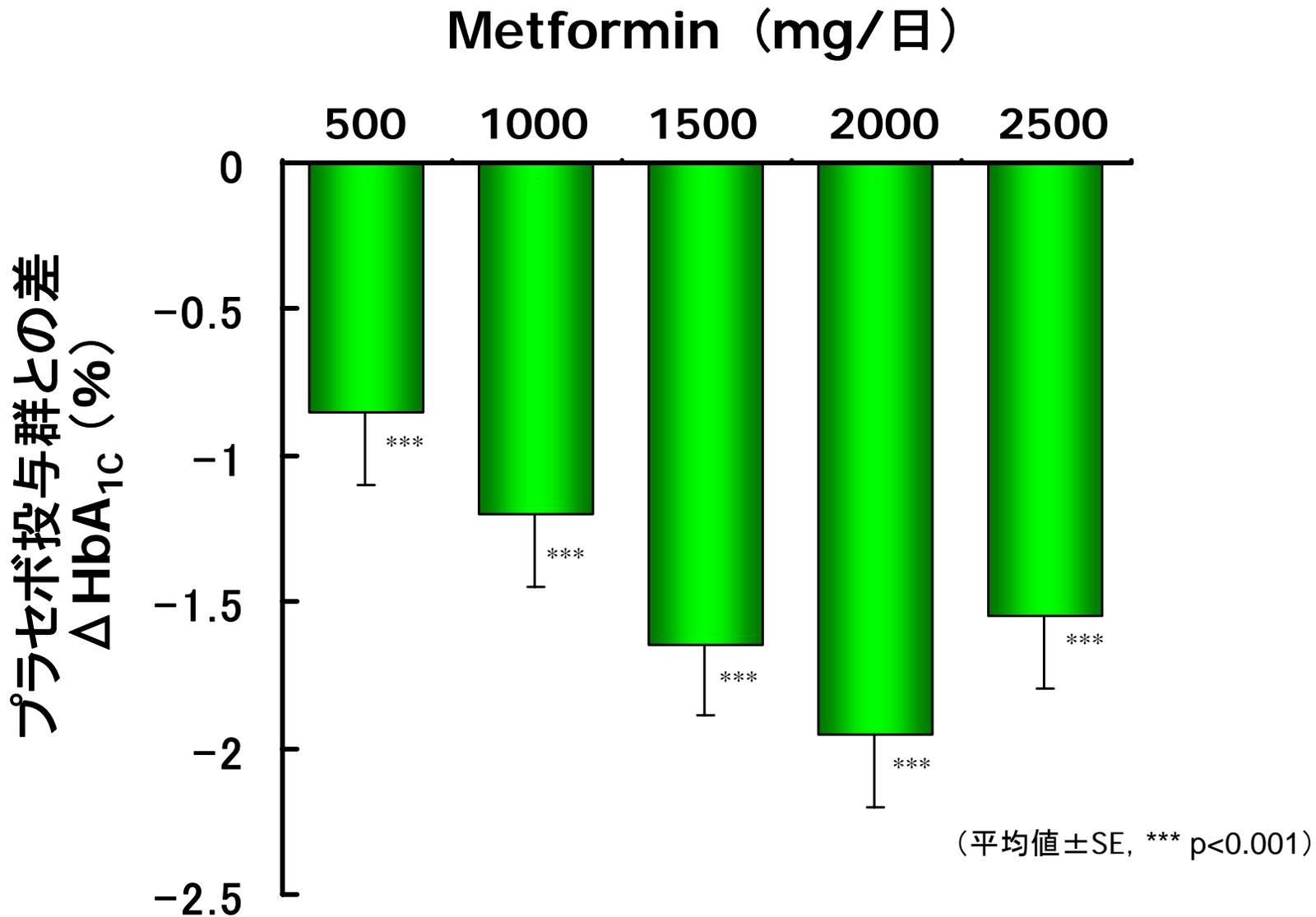
★第一選択薬としての適応を取得する
★既承認用量(1日750mg)を上回る用量を臨床試験成績に基づいて設定する

- 薬効分類 2型糖尿病治療剤
- 薬理学的機序 **ビグアナイド剤**

(肝:糖新生抑制、筋:糖取込み促進 他)

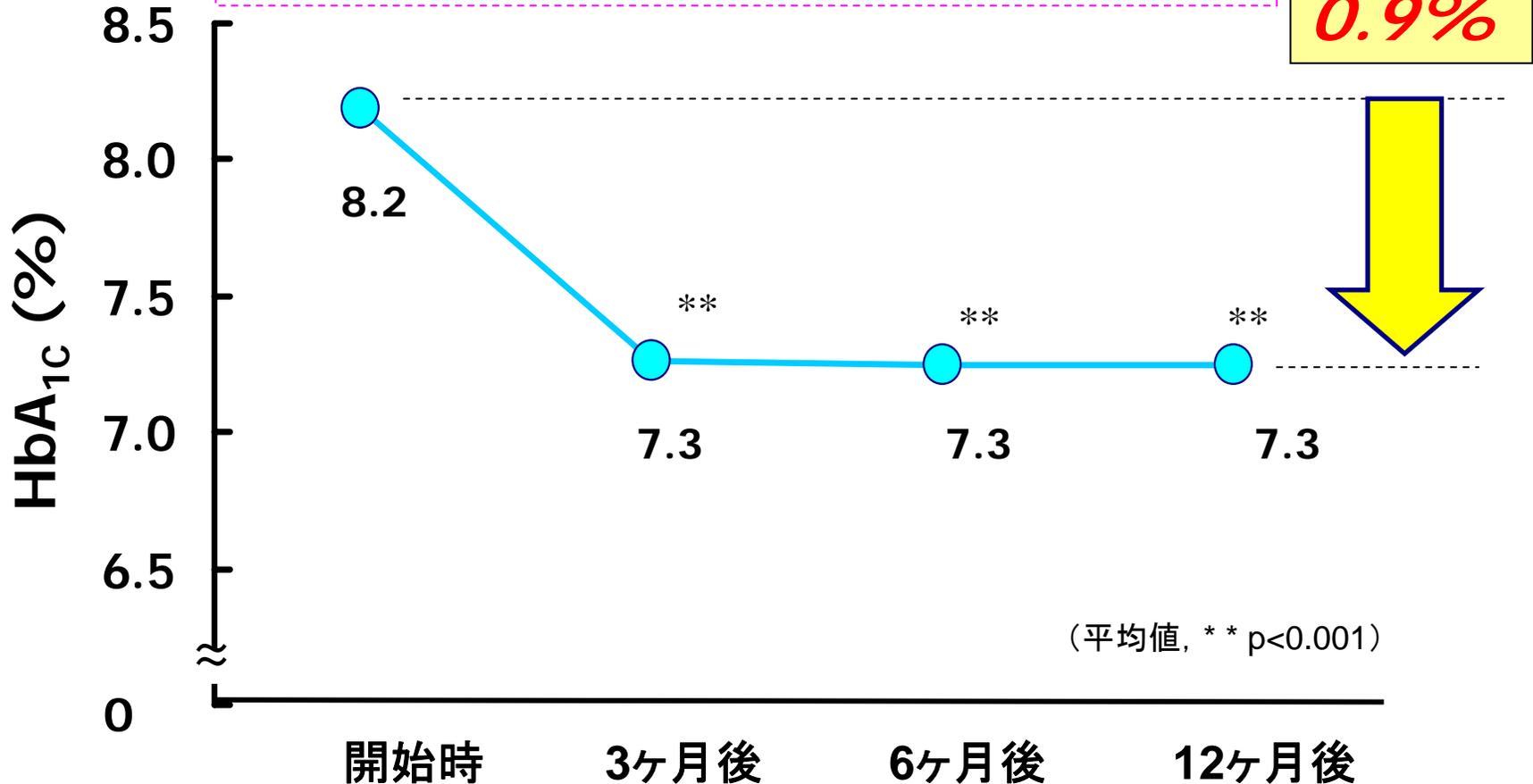


Metformin の血糖降下作用(海外)



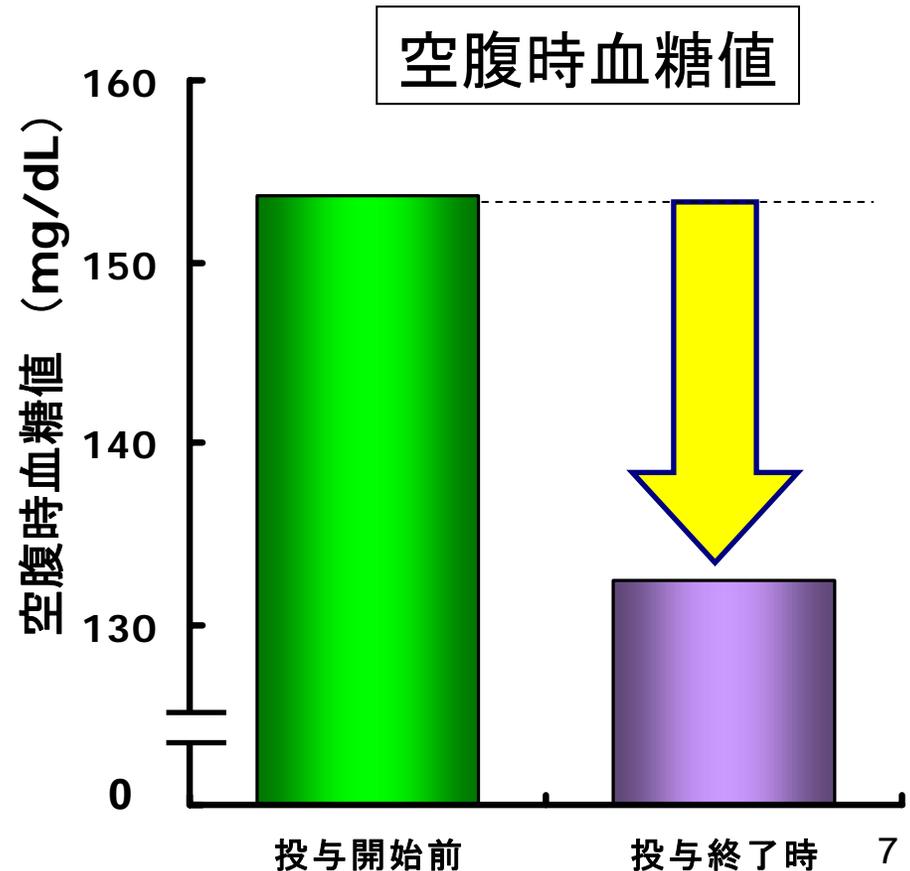
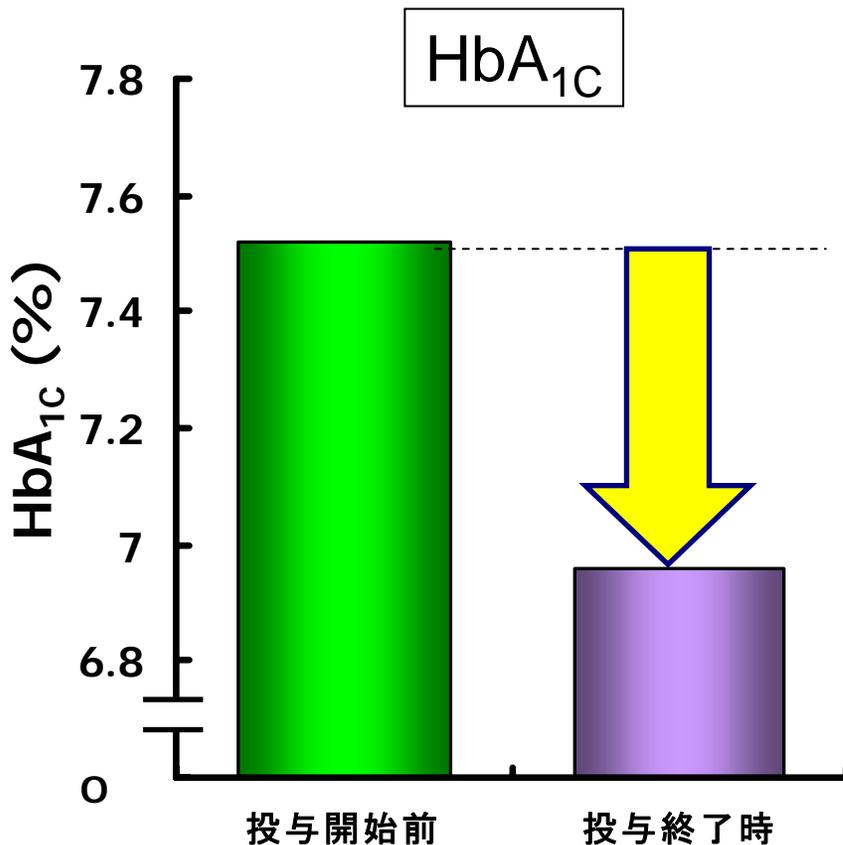
2型糖尿病治療におけるメトホルミンの使用 実態に関する観察研究(MORE study)

・2002年にメトホルミン(500~750mg/日)を新たに投与開始した1197例(74施設)の2型糖尿病患者を対象

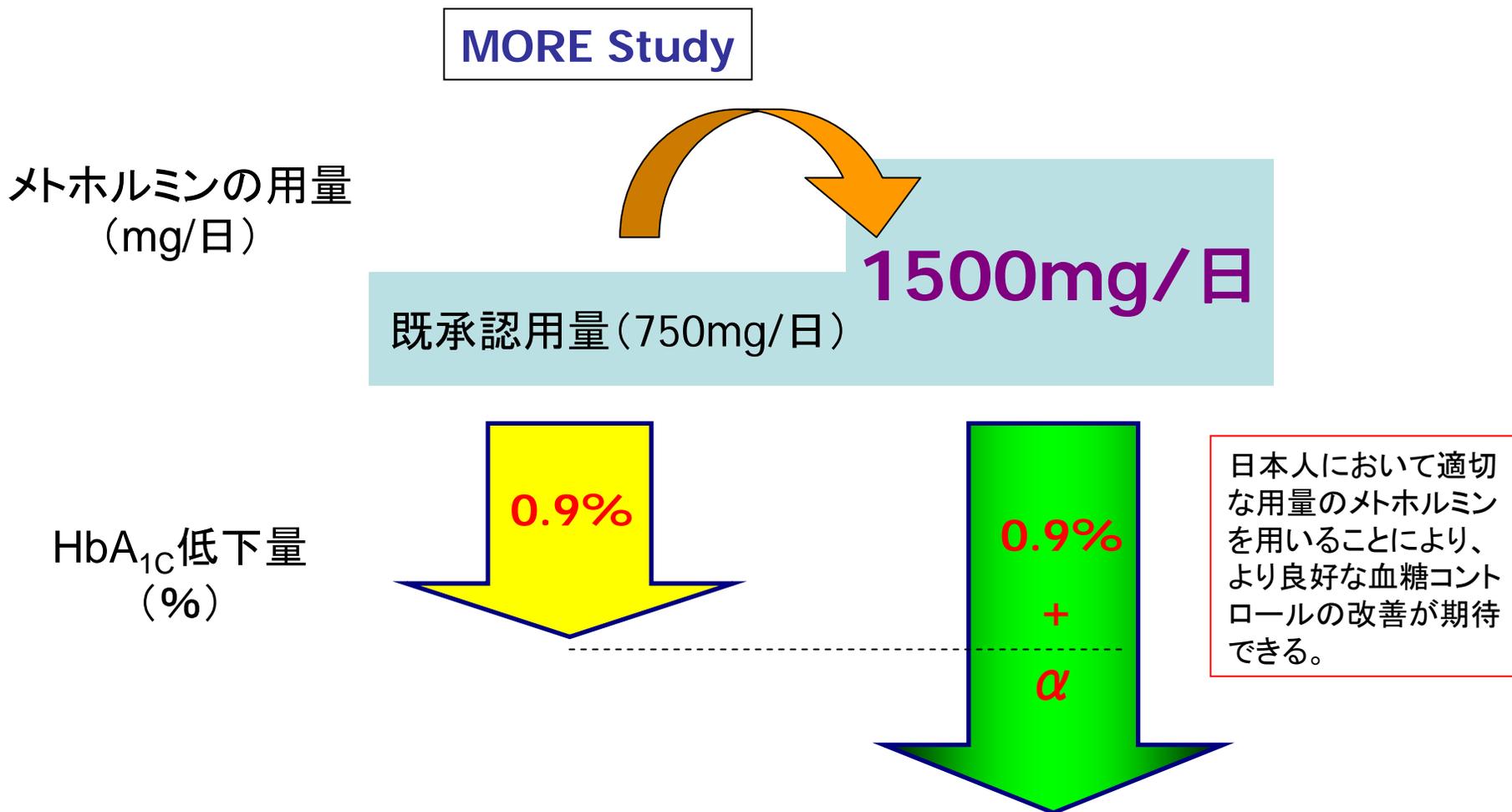


HbA_{1c}、空腹時血糖値

既承認用量(750mg/日)のメトホルミン塩酸塩にて血糖コントロール不十分な2型糖尿病患者を対象に、SMP-862 1500mg/日を12週間投与した。



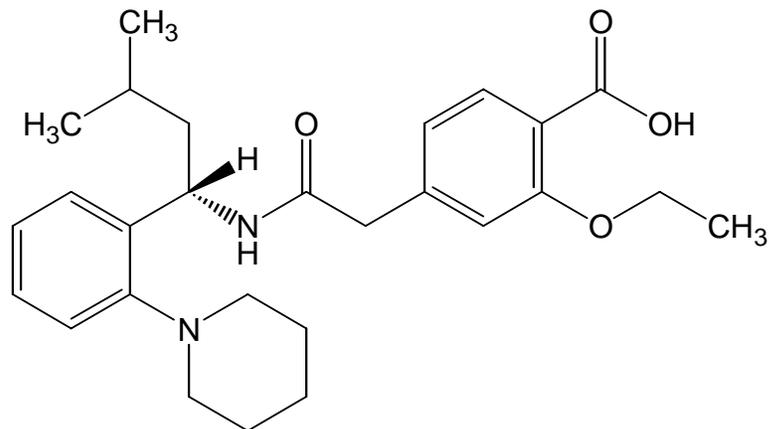
日本人2型糖尿病患者において メトホルミンで期待される血糖降下作用



SMP-508

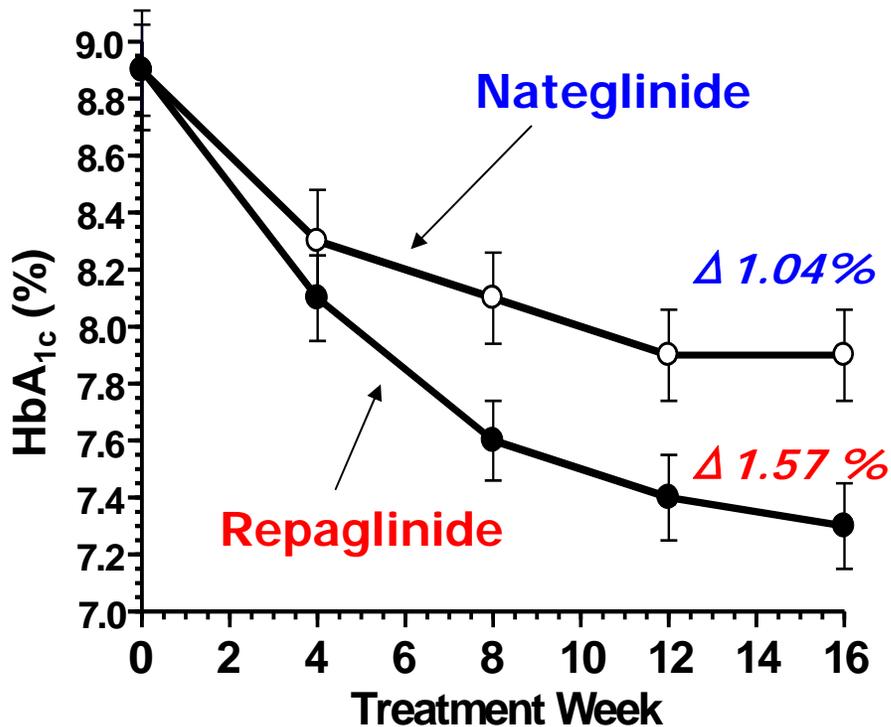
【国内：PⅡb】

- 一般名 レパグリニド (JAN)
Repaglinide (INN)
- 商品名 未定
- 国内申請区分 1-(1)新有効成分医薬品
- 薬効分類 2型糖尿病治療剤
- 薬理学的機序 速効型インスリン分泌促進剤

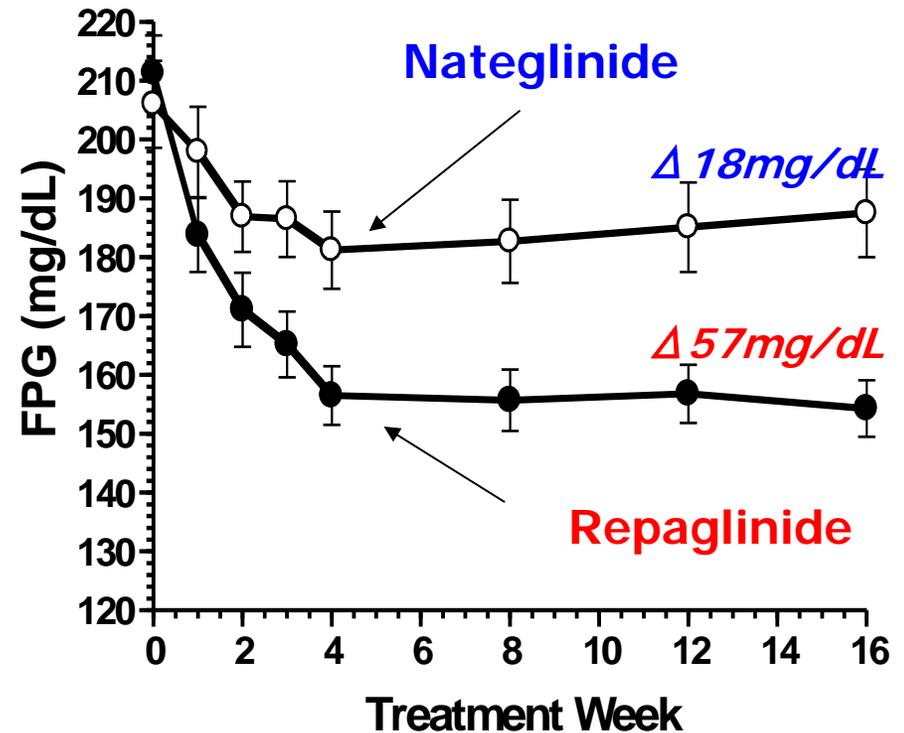


RepaglinideとNateglinideの比較

HbA_{1c}

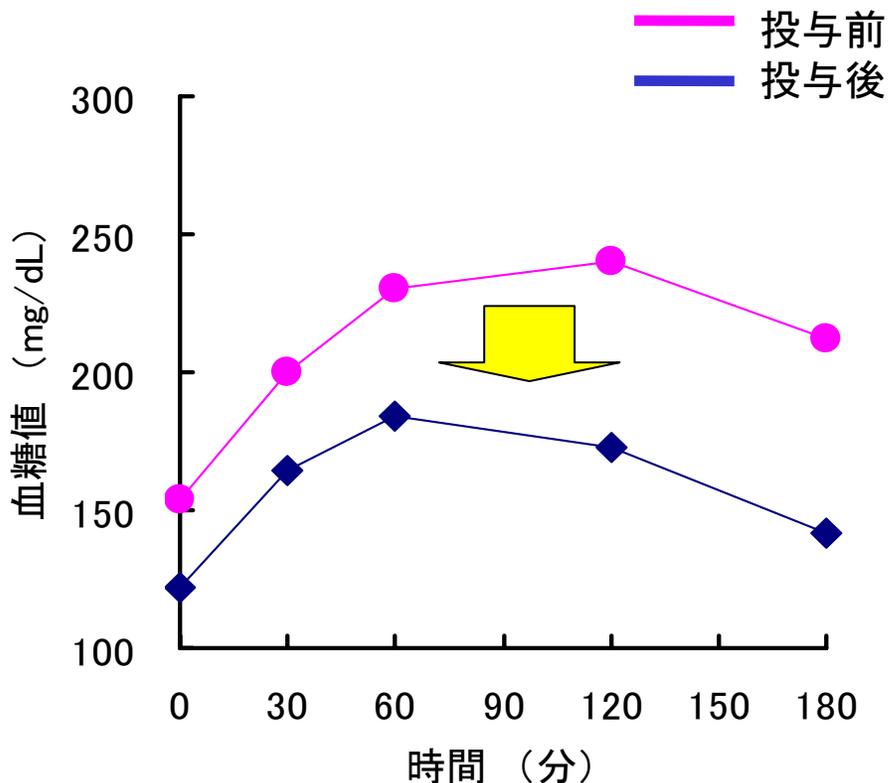
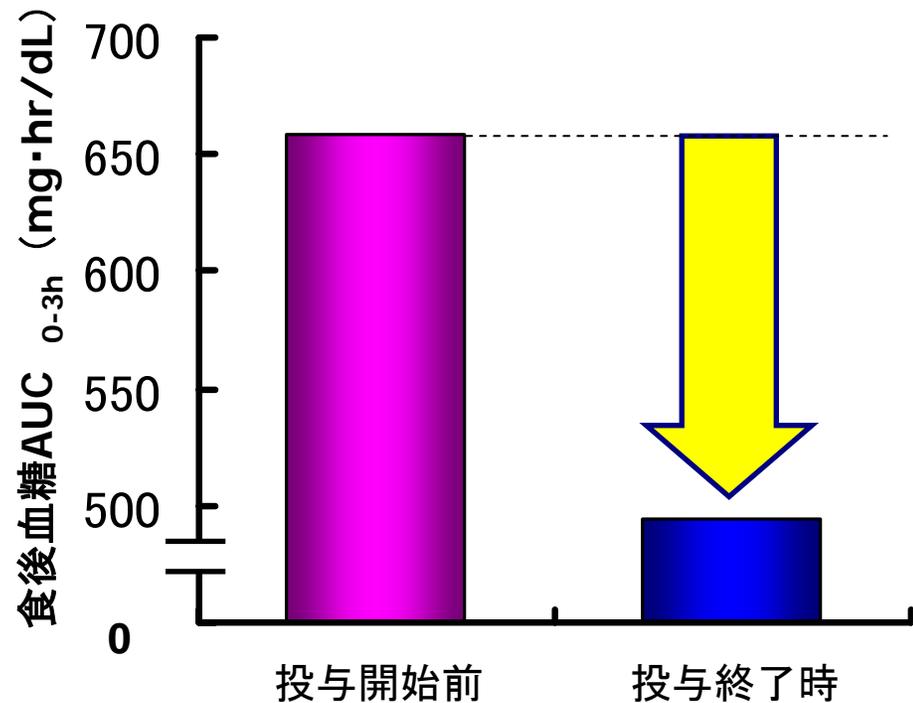


空腹時血糖値



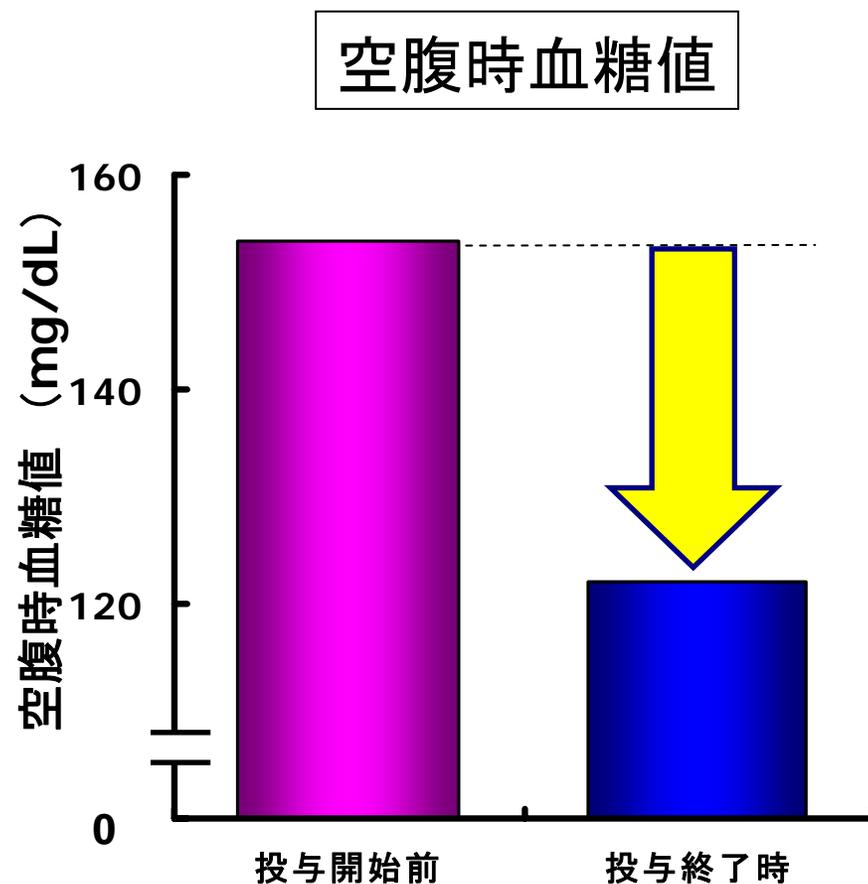
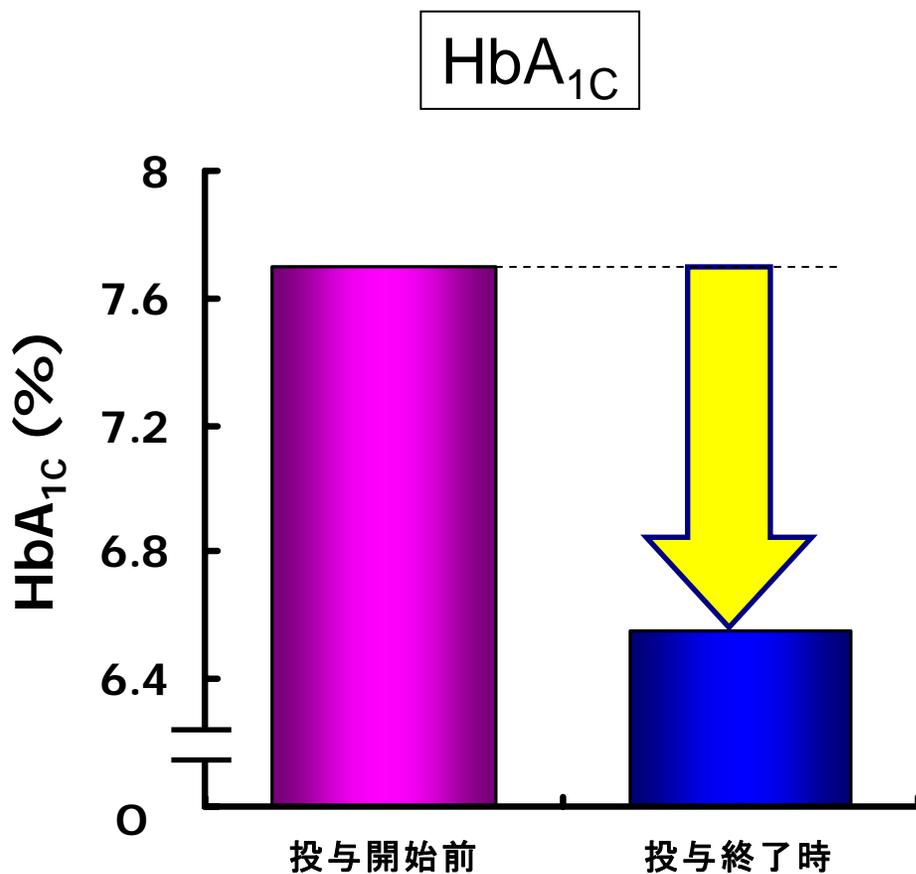
既承認用量の α -GI剤にて血糖コントロール不十分な患者を対象に、SMP-508を8週間投与した。

食後血糖値

食後血糖AUC_{0-3h}

HbA_{1c}、空腹時血糖値

既承認用量の α -GI剤にて血糖コントロール不十分な患者を対象に、SMP-508を8週間投与した。



将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。

したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。